

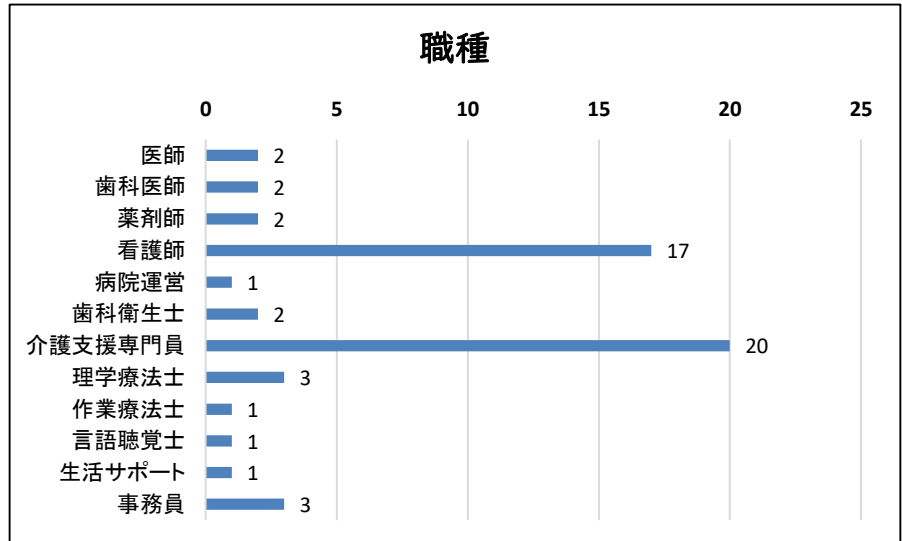
令和8年度 第1回多職種研修会（在宅医療介護連携推進事業）アンケート結果

作成 令和8年8月 高齢介護課

参加者数	回答数	回答率
68	55	80.9%

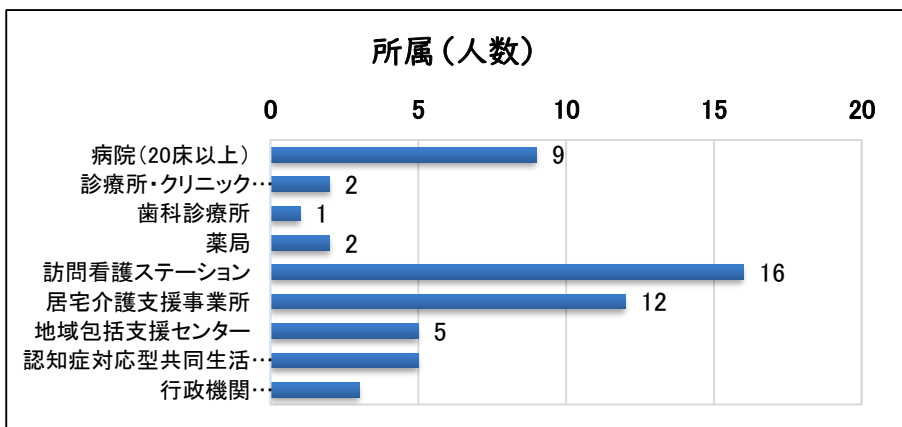
1-1.アンケート回答者の職種

職種	人数
医師	2
歯科医師	2
薬剤師	2
看護師	17
病院運営	1
歯科衛生士	2
介護支援専門員	20
理学療法士	3
作業療法士	1
言語聴覚士	1
生活サポート	1
事務員	3



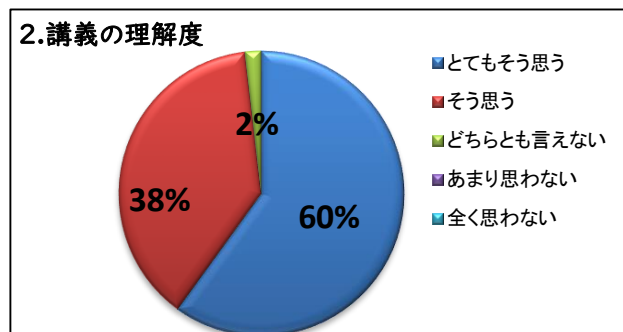
1-2.所属

所属名	回答数
病院（20床以上）	9
診療所・クリニック（無床・19床以下）	2
歯科診療所	1
薬局	2
訪問看護ステーション	16
居宅介護支援事業所	12
地域包括支援センター	5
認知症対応型共同生活介護	5
行政機関（市区町村・保健所など）	3



2.訪問歯科医師の講義は、理解しやすかったですか

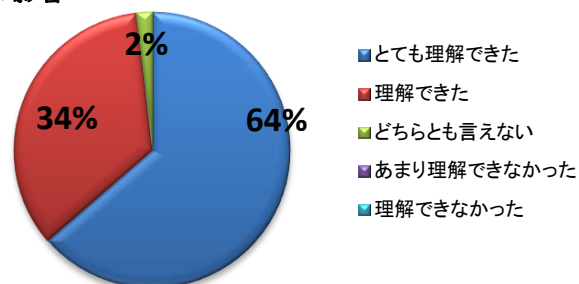
	回答数
とてもそう思う	33
そう思う	21
どちらとも言えない	1
あまり思わない	0
全く思わない	0



3.口腔・栄養・運動の「小さな変化」が生活全体に影響することを理解できましたか

	回答数
とても理解できた	35
理解できた	19
どちらとも言えない	1
あまり理解できなかった	0
理解できなかった	0

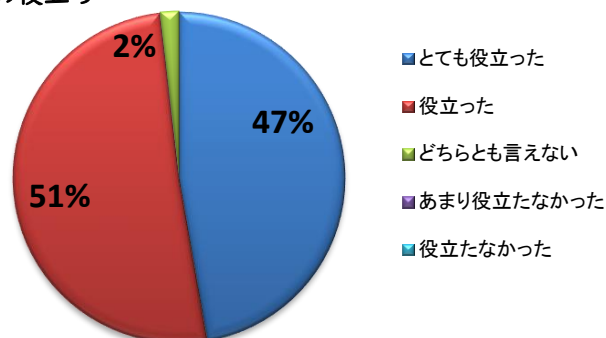
3.口腔等の影響



4.歯科衛生士・管理栄養士・言語聴覚士のショートメッセージは、現場の理解に役立ちましたか

	回答数
とても役立った	26
役立った	28
どちらとも言えない	1
あまり役立たなかった	0
役立たなかった	0

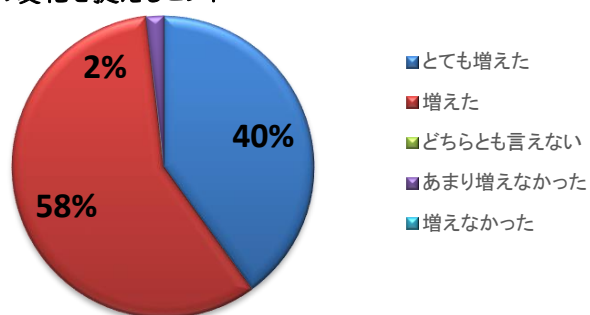
4.現場への役立ち



5.多職種の視点を知ることによって利用者の変化を捉えるヒントが増えましたか

	回答数
とても増えた	22
増えた	32
どちらとも言えない	0
あまり増えなかった	1
増えなかった	0

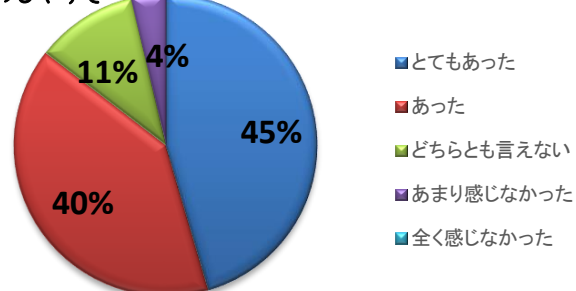
5.多職種の変化を捉えるヒント



6.グループワークでは多職種と意見交換しやすい雰囲気がありましたか

	回答数
とてもあった	25
あった	22
どちらとも言えない	6
あまり感じなかった	2
全く感じなかった	0

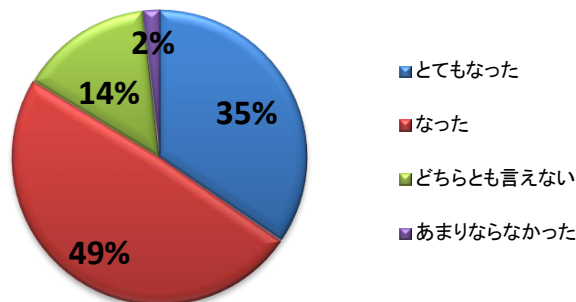
6.意見交換のしやすさ



7.利用者のちょっとした変化を言語化する練習になりましたか

	回答数
とてもなった	19
なった	27
どちらとも言えない	8
あまりならなかった	1

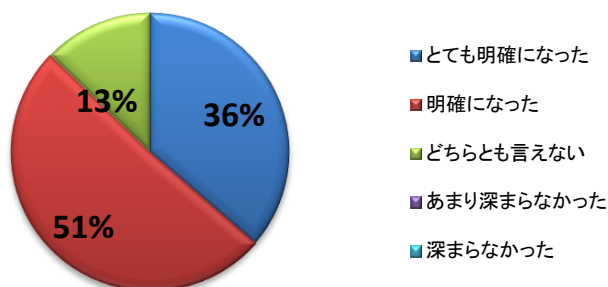
7.言語化する練習



8.今回の研修で多職種の連携についてイメージが明確になりましたか

	回答数
とても明確になった	20
明確になった	28
どちらとも言えない	7
あまり深まらなかった	0
深まらなかった	0

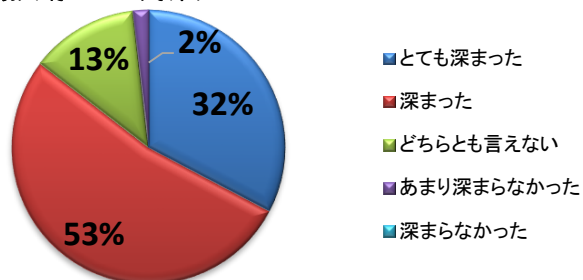
8.多職種連携のイメージ



9.今後、日常的に相談・情報共有したいと思える関係性が深まりましたか

	回答数
とても深まった	18
深まった	29
どちらとも言えない	7
あまり深まらなかった	1
深まらなかった	0

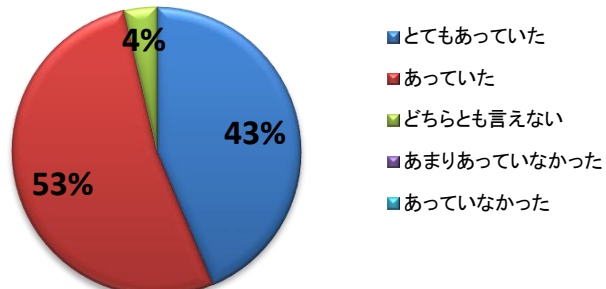
9.相談・情報共有したい関係性



10.研修テーマ「気づきは日常の中にある」は内容とあっていましたか

	回答数
とてもあっていた	24
あっていた	29
どちらとも言えない	2
あまりあっていなかった	0
あっていなかった	0

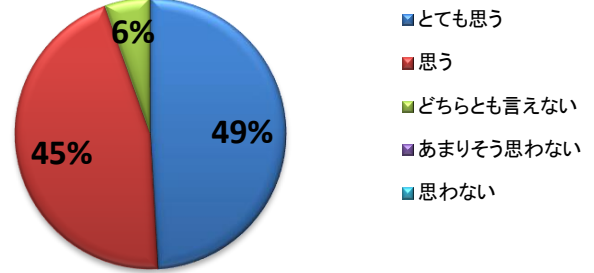
10.テーマと研修内容について



11.この研修を他の職種にも勧めたいと思いますか

	回答数
とても思う	27
思う	25
どちらとも言えない	3
あまりそう思わない	0
思わない	0

11.この研修を他にも勧めたいか



12.今日の研修で印象に残ったことはありますか (一部抜粋)

・歯科医師とホスピスの看護師さんのグループでした。それぞれのお立場からのお話を興味深く伺いました。終末期の方の「食」について、単に栄養補給ではない、どう生きるかの選択が大きく関わっている事象と理解しました。歯科医師からは、高齢者の方が上手に受診するコツを教えてくださいました。学びや気づきがたくさんありました。参加して良かったです。
・今まで、食事は2回でも良いということがいい伝わって来たような気がするけれど、きちんと3食食べること、タンパク質も必要だし、どうしたら、少しでも食べることに興味を持ってもらうか?という点口腔ケアの必要性を感じました。
・隣の人と距離が近く、会場が暑く感じ、特に前半は先生のお話しに集中できなかった。グループワークの際も同様に、近くの人たちの声が入ってきてしまい、同じグループの方たちの声が聞こえず、苦労があった。グループワークで意見をまとめることができたが、挙手になってしまうと遠慮してしまう方がいるため、発表時間を短く区切るなどして、全グループの発表があった方が、グループワークの意味があるように感じた。
・小さな気づきが他職種が連携することで、大きな問題になる前に予防できる。日常生活での気づきの気づきや、わずかなサインを見逃さないことが大切。気づいたら繋ぐ勇気を持ち、他職種で支えることが大事。
・グループワークの中で、他職種で普段見る視点がちがうということに改めて気がつくことができた。また、どうしても同職者の中で問題を解決しようとしてしまう傾向があったため、他の職種へ相談するというアクションから、点と点が繋がり円となって、地域の方や利用者及び患者をサポートする体制作りをしていきたいと思う。
・握力低下が口の筋肉も低下しているということ。握力検査は下肢筋力と通じていると思っていたが、口腔も関係していた事を学べた。
・今、まさに。ALSの方がいたり、私は2食で十分と言う方の所に行った後だったため、勉強になりました。家族に歯科を勧めてもさほど、重要しされないことが多いので、写真などで具体的に説明されると良いなと思いました。
・いつまでも 美味しく 食事が食べられることの幸せの実現に向けて多職種連携顔の見える関係性があることで 相談しやすい環境ができる 支援者同士の情報共有やお互いに資質向上も図れ、利用者への支援につながる。とても素晴らしいことだと思います。
・ショートメッセージにて、皆さんが何を大切に仕事をされているのかがよくわかりました。(専門職の視点がとても参考になりました。)またグループワークは普段、直接関わることが少ない皆様と対話できたのは貴重な経験でした。
・少人数でのグループワークは緊張せず話がしやすいと感じました。
・食事について聞くことはあるが 実際には食事をしている時間は避けて訪問していたので 気になる方は食事の時間に訪問、訪問歯科の時間に合わせて訪問しようと思った。
・オーラルフレイルの評価項目を元に予防に力を入れていきたい。握力低下や口角が下がることも嚥下機能に影響している可能性(口腔機能・筋力低下)があるということを知り、今後の介入時に参考にさせていただきたいと思いました。
・グループワークにて、職種ごとに視点や意見が違ふ点は、今後の情報共有の際に役立てたいと思った。歯科領域の知識不足を感じ、勉強意欲への良い刺激となった。
・多職種とは、言え 専門の資格を持たない者には「聞くだけ」に終わってしまった感が強い。今後の現職への関わり方を改めて考える良い機会になりました。
・歯科に関する講義を受けるのは初めてだったため、全体を通して新たな気づきが多く、改めて日常業務の中でも意識して目を向けるきっかけとなりました。
・利用者さんの中で特に、歯科への受診に対して抵抗の有る方が多く居るの現状で、家族に促されても行かないです。事例で見た写真と同様の口腔内の状態が同じであり、再度訪問時には歯科への受診を促して行きたいと思いました。

13. 今後扱って欲しいテーマはありますか (一部抜粋)

・救急隊、消防との連携
・情報連携のタイムラグをなくす為の情報共有のあり方について
・多職種連携の中にどうやって家族を巻き込んでいくか、こういうものに家族参加があっても良いと思う。
・脳卒中や動脈硬化やアルツハイマー病など
・排泄について気を付けること病気との関係
・認知症の方への地域での対応
・口腔粘膜癌や口腔の病気、フットケア、褥瘡、緊急時の対応、認知症や障害への理解、障がい者差別解消法の改正について
・高齢でも「若い者の世話には、なりたくない」と、1人で暮らしている方達に今の自分でも周りから必要とされている、役に立てるんだと感じて貰えるには、どう関わって行けば良いか…等 実際、1人暮らしの方達を交えて話せたら…
・口腔ケアについて
・防災時の対応、連携について

14. 研修全体へのご意見・ご感想や印象に残ったことなど、自由にご記入ください (一部抜粋)

・日頃、関わりが多い訪問介護職員や通所介護職員が参加すると良いと思った。
・多職種の方と顔を合わせる機会であり、毎回有意義な時間となっています。運営関係者の方々、お疲れ様でした。ありがとうございました。次回も期待しています。
・講義のなかで職種により見方が違うとの話があったが、グループワークで気づき、自分と同じ意見や違う意見で職種による見方の違いを感じ、違う見方がとても学びとなった。
・メイン講義に加え、専門職のメッセージという形式が良かったです。
・グループワークで何を何分で行うかがわかりにくかった。
・口腔低下症やその患者様における身近なワードに気がつくことが重要だと思った。
・開始時間が30分早くなり、終わりも30分早くなると助かるなぁと個人的に思いました。
・グループワークの際、何を話し合ったら良いか分かりにくかった
・この度の研修は、日頃気づかない事を詳細にわかりやすく解説いただいたので、本当に役に立ちました。病院に戻ってスタッフと話してみたら、あらためて口腔ケアと同様に気づきが重要だと再確認できました。
・口腔が病気発見のもとになるということがとても印象に残りました。
・職種によって視点が異なるので、日々の悩みを伺うことで「このような悩みに繋がらないように今後の報告内容に配慮しよう」という思いに繋がりました。多職種がお互いに理解し同じ方向を向けるように、対話が大切を改めて思いました。
初めて参加させていただきましたが、普段、専門的なお話を伺う機会が少ない方々の講演やメッセージを聞くことで、新たな気づきがあり、今後の日常業務に生かしていきたいと思いました。また、普段は業務連絡以外でお話しする機会のない方々とのグループワークも新鮮で、楽しく参加することができました。貴重な機会をありがとうございました。
・再度、今回のテーマについて続きがあれば研修会を開催して頂きたいと思います。宜しくお願い致します。
・もう少し時間が早く終わると良いかと思います。